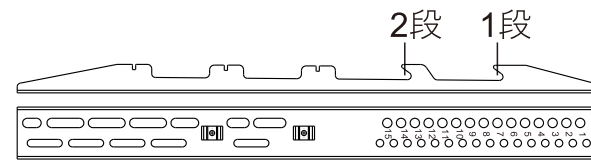
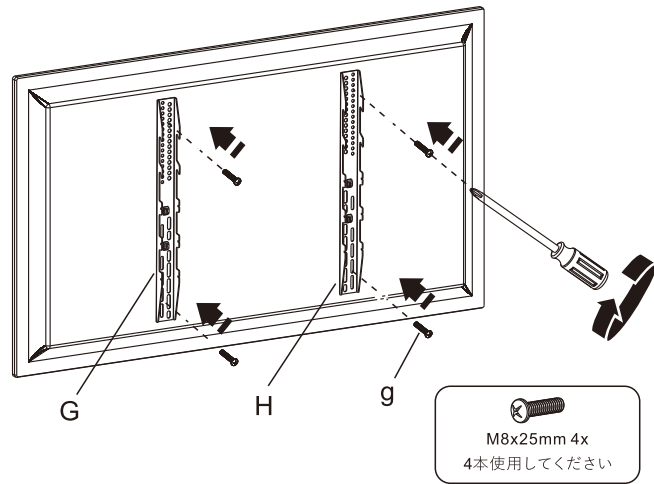


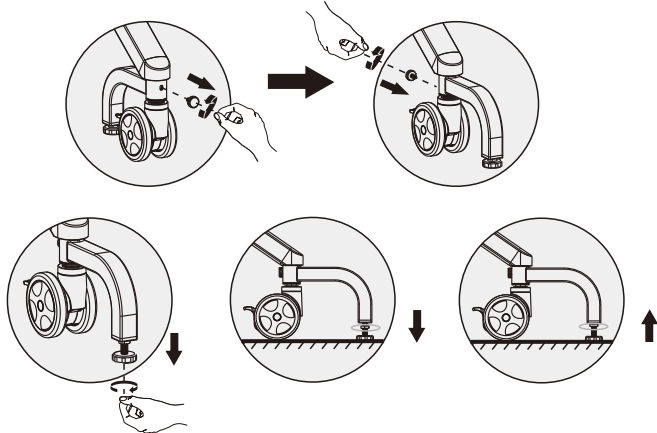
⑥ 縦金具をディスプレイに取り付ける



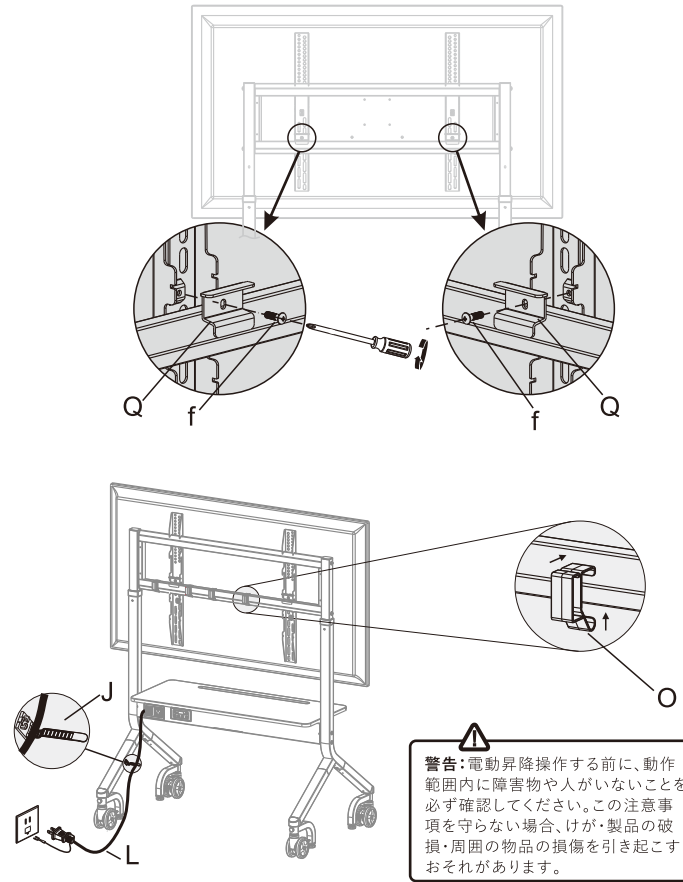
65インチ、75インチともに縦金具は2段目、穴は8mm径を利用を推奨しています。下図のようにディスプレイをスタンドに載せた後、横ずれ防止金具を使用してください。
各電子黒板に対して使用できる縦金具穴位置は別紙「縦金具の取付穴位置」を参照してください。

⑦ 補助脚の調整とケーブルガイド取り付け

使用前に補助脚を必ず利用してください。ディスプレイの電源ケーブルなどはケーブルガイドを利用すると配線を整理することができます。



補助脚アジャスタを緩めた後、ナットを緩めて高さ調整しナットを締めてください。



MP-STC75EL 電子黒板専用スタンド取扱説明書

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品を安全にご利用いただくために、ご使用前に本書をお読みください。
また、お読みになった後は大切に保管してください。

- 電子黒板を本製品に取り付ける際は、電子黒板の説明書もあわせてお読みください。
- 本製品は 65～75 インチのさつき製電子黒板に使用できます。
- 本製品の耐荷重はスタンド 68kg、トレイ 30kg です。

安全上のご注意

下記の注意事項は、安全に関する重要な内容です。危害や損害を未然に防止し、製品を安全にご利用いただくために、必ずお守りください。

<表示の意味>



注意 人が損害を負う可能性がある、または家屋・家財などの損害に結びつくことが想定される内容です。

記号は次の意味を表しています。



してはいけないこと



必ずすること



注意

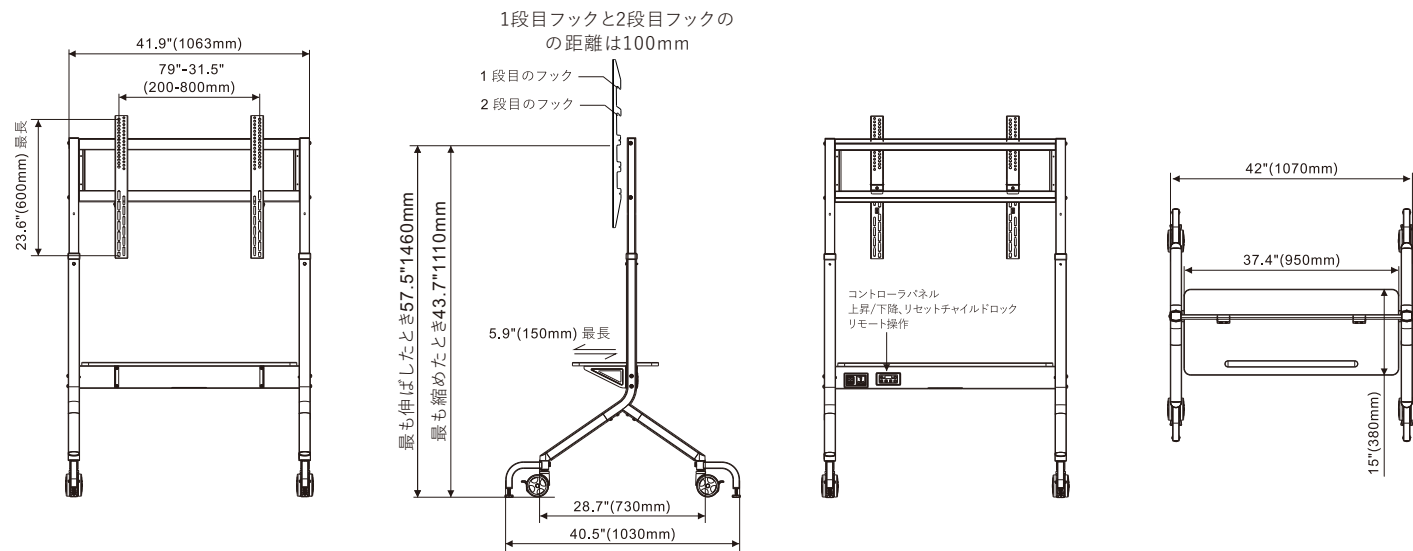
■ 設置について

- ❗ **電子黒板の取り付けは必ず2人以上で行う。**
転倒したり落下してけがや機器破損の原因になります。
設置後は、キャスターをロックし、自走しないようにする。
不意に機器が動くと、けがや機器破損の原因になります。
- 耐荷重(スタンド 68kg、トレイ 30kg)は必ず守る。**
耐荷重以上のものを載せると、転倒しけがや機器破損の原因になります。
- ⊘ **傾斜のある場所や不安定な床面に設置しない。**
転倒し、けがや機器破損の原因になります。
- 本来の目的以外の用途に使用しない。**
- ⊘ **電源コードを引っ張らない。**
コードを引っ張ると内部配線が損傷し、感電や火災の事故につながる可能性があります。

■ 使用について

- ⊘ **分解や改造をしない。**
転倒したり落下してけがや機器破損の原因になります。
- ❗ **本機を移動するときは、周囲を確認しながら、2人以上でゆっくり行う。**
段差があるときは一度電子黒板を本機から取り外してから段差を越える。
補助脚を内側にして、完全に上げた状態で移動する。
ネジにゆるみがないか、定期的に確認する。
- ⊘ **本機に乗ったりぶら下がったりしない。**
けがの原因になります。
- ❗ **機種に対応した取り付け位置を守る。**
転倒やけがの原因になります。
- ❗ **乾燥した涼しい場所で保管・使用する。**
暑い場所や湿度の高い場所に長く置いておくと電気部品の劣化につながります。
- ⊘ **スタンドが上昇下降移動中は触らない。**
稼働中に電子黒板やスタンドを触れていると、思わぬ箇所を手や指を挟む恐れがあります。

仕様



お客様ご相談窓口 故障したとき・修理のご依頼など
0120-261-271 (フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00 (月~金)
祝祭日、夏季、年末年始および弊社指定休業日を除く

商標について
● さつきおよびロゴは、さつき株式会社の日本およびその他の国における商標または登録商標です。
● そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

さつき株式会社

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場4丁目10番29号

使用上のご注意

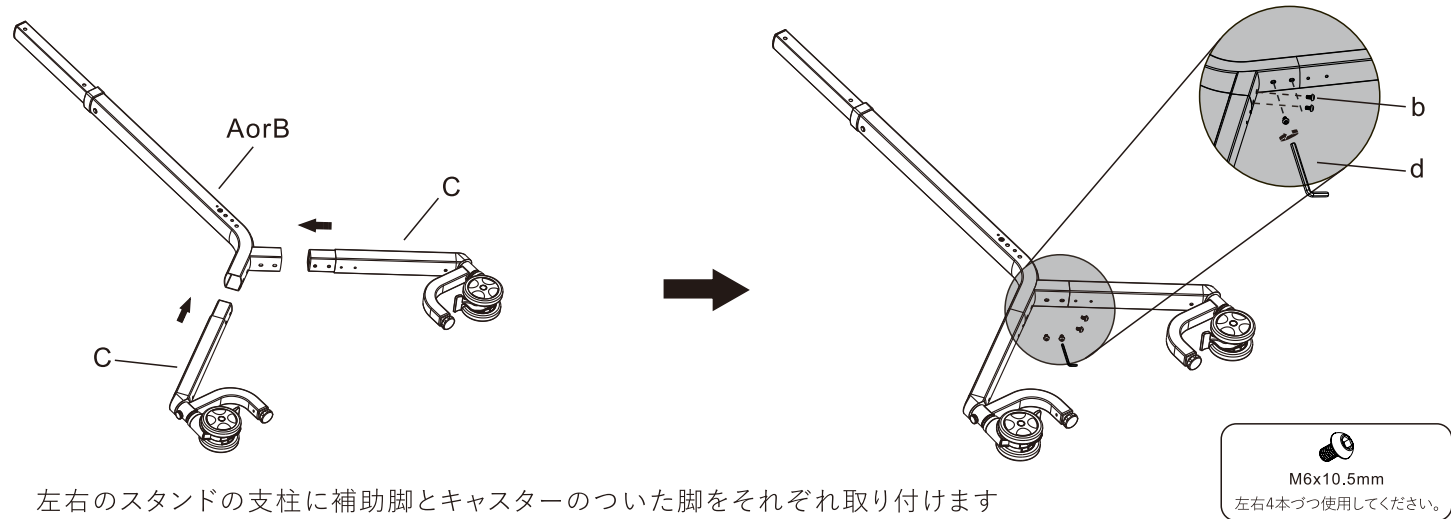
スタンドを組み立てるときは、床に傷がつくのを防ぐため、本機の梱包材をご活用ください。

付属品

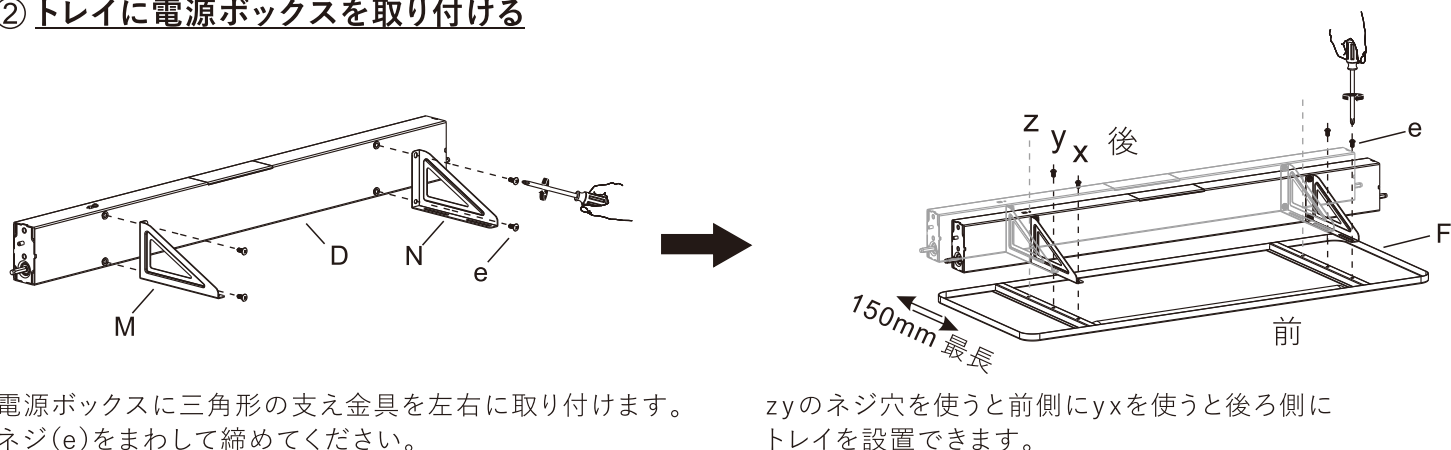
1 A X1	2 B X1	3 C X4	4 D X1	a M8x60mm x8	b M6x10.5mm x8	c φ8.2x1.2mm x8	d 5mm x1
5 E X1	6 F X1	7 G X1	8 H X1	e M6x14mm x8	f M6x20mm x2	注意) プラスドライバーは付属しておりません。 組み立てる前にご用意ください。	
9 J X2	10 K X1	11 L X1	12 M X1	g M8x25mm x4			
13 N X1	14 O X4	15 Q X2	注意) リモコンの電池は付属しておりません。 使用前にご用意ください。				

組み立てる

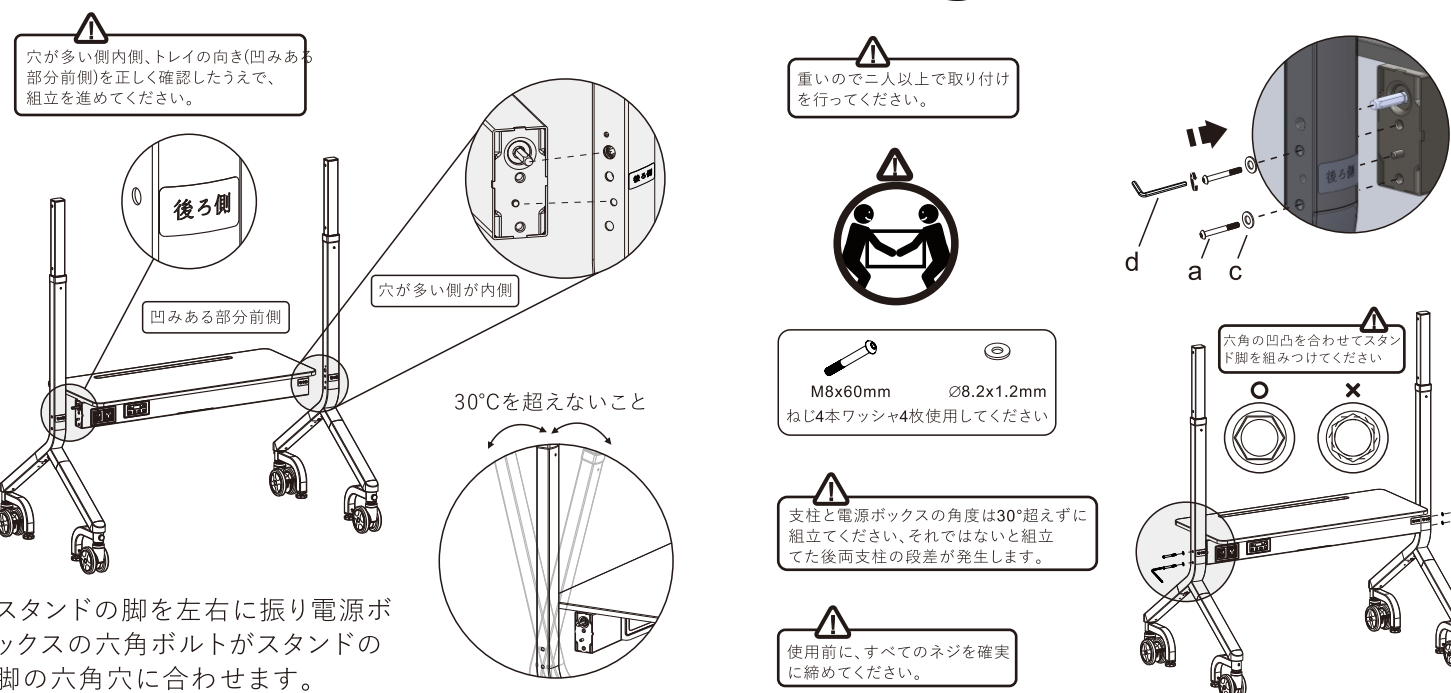
① スタンドの脚部を支柱に取り付ける



② トレイに電源ボックスを取り付ける

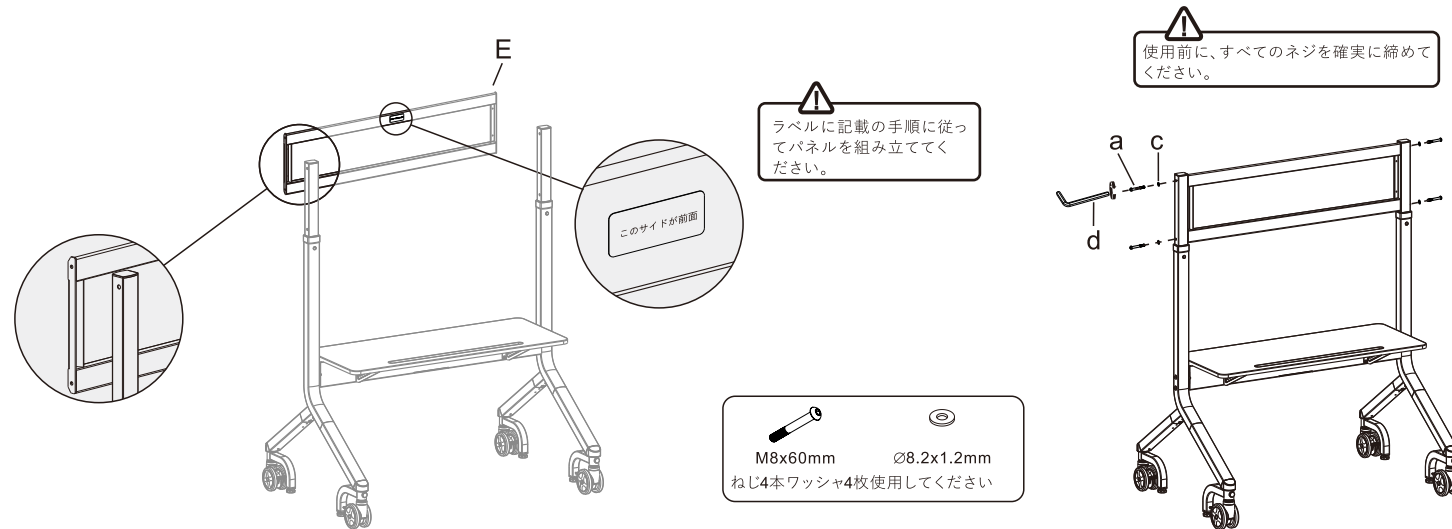


③ 電源ボックスを支柱に取り付ける



スタンドの脚を左右に振り電源ボックスの六角ボルトがスタンドの脚の六角穴に合わせます。

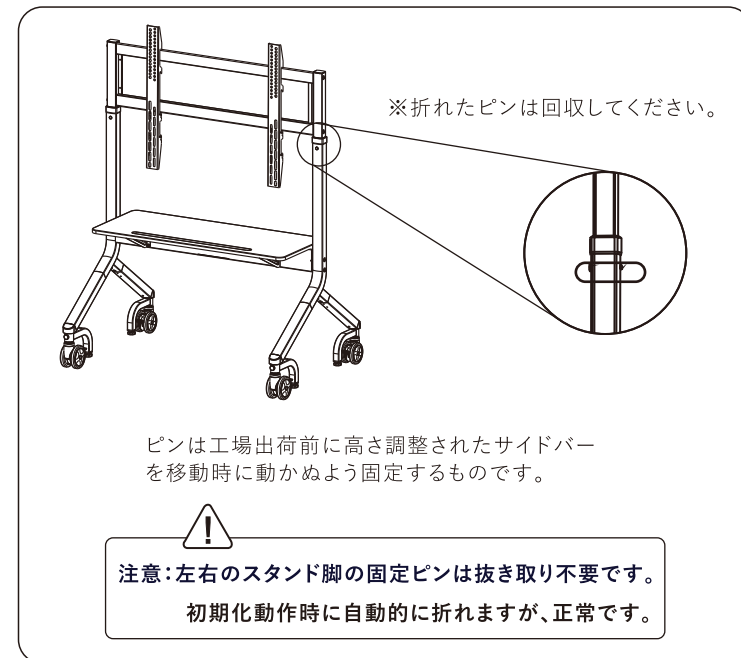
④ ハンガーレールを支柱に取り付ける。



- ディスプレイを取り付ける前に本資料記載の「スタンドの高さ調整」に沿って初期化を実施してください。
- 取り付けは、きれいな毛布またはクッション材を敷いた平坦な場所にディスプレイの表示面を伏せた状態で行ってください。ディスプレイ表示が面に傷がつくおそれがあります。
- 必ず本資料記載の「縦金具の取付穴位置」に沿って取り付けをおこなってください。

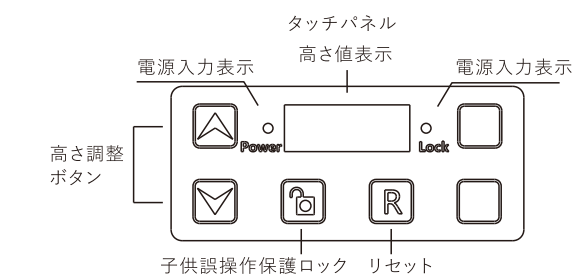
⑤ 初期化を行う(左右スタンド脚の高さ自動調整)

初期化するには、「R」タッチパッドを押したまま保持してください。ディスプレイが「----」と点滅し、初期化の開始を示します。表示が「1460」になってプラケットが上部最高位置に到達したら、初期化が完了となります。



リモコンを使用する
電池は同梱されておりません。電池を用意してください。以下のようにタッチパネルとリモコンのペアリングを行ってください

- スタンドが電源 OFF であることを確認してください。コンセントから電源コードのプラグを抜いてください。
- 注意:リモコンのペアリングボタンを押したまま状態で信号ランプが点滅したらその時、スタンドに電源を入れてください、それでランプが消えたらペアリングが完了します。



コード	説明	対応方法
E01	電源回路でオープンが発生	電源クロスバーに修理が必要な場合は、メーカー工場または正規サービスセンターへ返送し、修理を依頼してください。
E02	過負荷状態	A. スタンドの負荷を安全なレベルまで軽減してください。 B. 本体の再使用は絶対に行わないでください。電源クロスバーはメーカー工場へ返送し、専門の修理を受けてください。
E03	障害物に当たり	動作経路を確認し、障害物を取り除いてください。
E04	モーターが過熱	A. モーターを再稼働させる前に、少なくとも18分間は冷却してください。 B. 電源を再起動するには、本体の電源プラグをコンセントから抜き、再度接続して再起動してください。
E05	電圧不足	故障:入力電圧が低すぎます。 電源が定格仕様(90~110V)を満たしているかご確認ください。

エラーコード説明		
コード	説明	対応方法
E01	電源回路でオープンが発生	電源クロスバーに修理が必要な場合は、メーカー工場または正規サービスセンターへ返送し、修理を依頼してください。
E02	過負荷状態	A. スタンドの負荷を安全なレベルまで軽減してください。 B. 本体の再使用は絶対に行わないでください。電源クロスバーはメーカー工場へ返送し、専門の修理を受けてください。
E03	障害物に当たり	動作経路を確認し、障害物を取り除いてください。
E04	モーターが過熱	A. モーターを再稼働させる前に、少なくとも18分間は冷却してください。 B. 電源を再起動するには、本体の電源プラグをコンセントから抜き、再度接続して再起動してください。
E05	電圧不足	故障:入力電圧が低すぎます。 電源が定格仕様(90~110V)を満たしているかご確認ください。

